

NEWS



For SMILE

笑顔のためにできること

第49期 中間報告書

自 2019年7月1日 至 2019年12月31日

KUDO



工藤建設株式会社





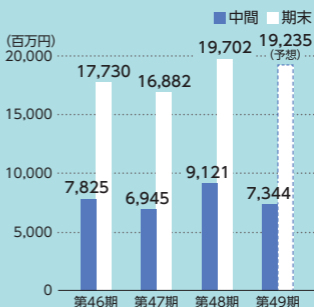
代表取締役 **工藤 英司**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第49期中間期（2019年7月1日から2019年12月31日まで）の業績の概要と、当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

財務
ハイライト

● 売上高



お客様の感動を創造する生活舞台

国内経済及び建設・住宅業界、介護業界について

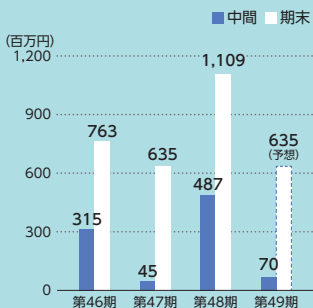
当中間期におけるわが国経済は、企業業績は高い水準にあるものの、輸出が弱含みで推移し一部の製造業で減益傾向が顕著になるなか、政府による経済・金融施策を背景に、雇用情勢・所得環境の改善が継続し個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復が続きました。しかしながら、長期にわたる米中貿易摩擦問題など世界経済は不確実性を増しており、消費税引き上げ後の消費者マインドの動向や国内で相次いでいる自然災害による影響など、景気の先行きに留意が必要な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資、民間投資ともに堅調に推移しているものの、施工管理者及び建設労働者不足が続いていることに加え、受注競争の激化等引き続き厳しい環境が続いております。

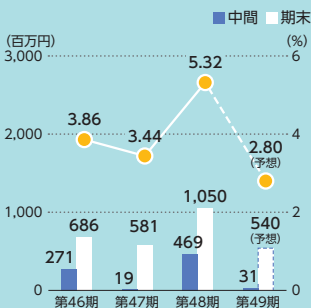
住宅業界におきましては、政府による住宅取得支援策が継続しており、住宅ローン金利が低い水準を維持したものの、持家の着工戸数は横ばいで推移し、貸家の着工戸数は緩やかに減少しております。

介護業界におきましては、引き続き介護サービスの需要が高まるなか、介護施設の整備・増設や、政府による介護職員の処遇改善に対する予算を策定する等の対策が行われておりますが、サービス業を中心とした人手不足が続いており、介護職員の安定確保が経営上の最重要課題となっております。

● 営業利益



● 経常利益 / 売上高経常利益率



創造企業を目指してまいります。

■ 当中間期の業績及び配当について

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

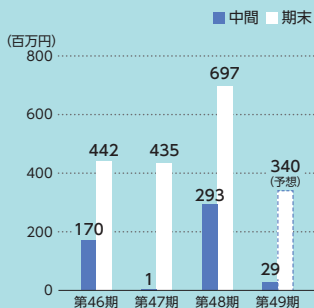
この結果、当中間期における業績は、売上高73億44百万円(前年同期比19.5%減)、営業利益70百万円(前年同期比85.5%減)、経常利益31百万円(前年同期比93.3%減)、中間純利益29百万円(前年同期比90.0%減)となりました。

なお、当中間期におきましては、前期末にご報告させていただいたとおり、配当を見送らせていただき、年間目標を達成することで当期末配当予想を100円とさせていただきます。

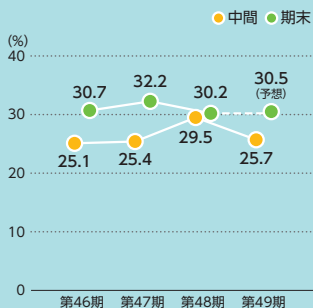
当社を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、事業競争力、収益力の一層の強化に向け一丸となって努力を続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年3月

● 中間(当期)純利益



● 自己資本比率

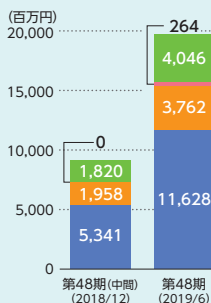


数字で見る工藤建設

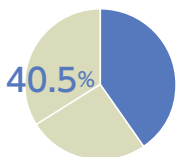
事業内容

企画・提案・建設を一貫したサービスで提供している建設事業、24時間365日住まいの安心を提供している建物管理事業、「地下室付住宅」をはじめ理想の住まいづくりを行う戸建住宅事業、安心と質の高いサービスを行う介護事業まで、人生すべてのライフステージに関わる「すまい」を提供している「生活舞台創造企業」です。

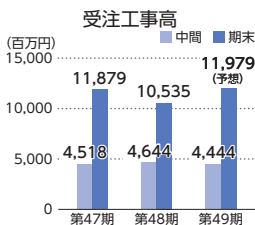
事業別売上高



建設事業

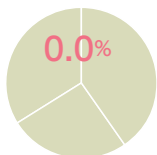


売上高
29億76百万円
(44.3%減)
営業利益
1億39百万円
(66.8%減)



建設部門において、大型の引き渡し物件が少なかったことから、完成工事高・完成工事利益ともに前年同期実績を大幅に下回りました。以上の結果、住宅部門を合わせた当事業の売上高は29億76百万円(前年同期比44.3%減)、営業利益は1億39百万円(前年同期比66.8%減)となりました。

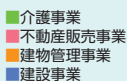
不動産販売事業



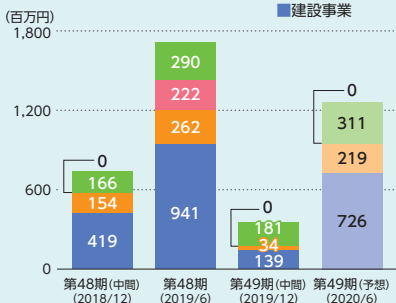
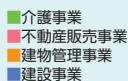
売上高 0百万円
営業利益 0百万円

当中間期における不動産部門に係る売上はございませんでした。
(参考:前年同期も売上はございませんでした。)

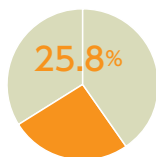




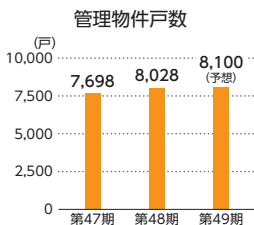
事業別営業利益



建物管理事業



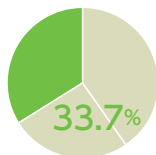
売上高
18億91百万円
(3.5%減)
営業利益
34百万円
(77.8%減)



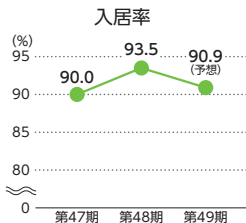
建物管理部門では、消費増税前の室内改修を中心とした大規模修繕工事の完工が順調でした。しかしながら、サブリース物件でのテナント入替えに伴う転貸損失引当金の追加計上が1億24百万円発生したため、前年同期実績を大きく下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は18億91百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は34百万円(前年同期比77.8%減)となりました。

介護事業



売上高
24億76百万円
(36.0%増)
営業利益
181百万円
(8.9%増)

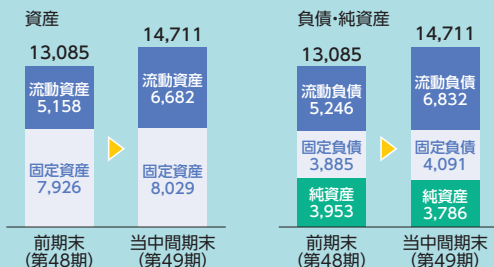


介護部門では、収益向上を目的に不採算施設の閉鎖を決定し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失について事業所閉鎖損失引当金24百万円を計上しました。その他の有料老人ホーム15施設については、入居者数が年度計画に比較して順調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は24億76百万円(前年同期比36.0%増)、営業利益は181百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

● 中間貸借対照表

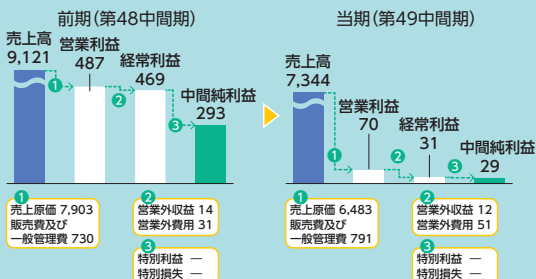
(単位:百万円)



資産の増加は未成工事支出金が9億65百万円、現金及び預金が3億49百万円増加したことにあり、一方負債の増加は未成工事受入金が10億12百万円、短期借入金が7億6百万円増加したことにあります。

● 中間損益計算書

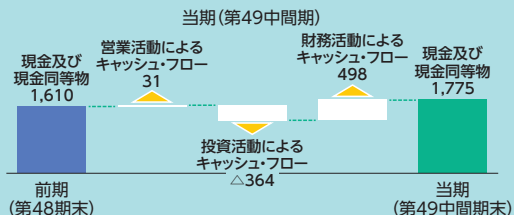
(単位:百万円)



売上高は、建設事業において、例年工事の完成引渡しが多いため、第1、第2四半期会計期間に比べ下半期の売上高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

● 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



当中間期は営業活動によるキャッシュ・フローに大きな動きはありませんでした。財務活動による資金は4億98百万円となり主な要因は借入金の増加であります。投資活動により減少した資金は3億64百万円で、定期預金の預入による支出1億84百万円、差入保証金の差入による支出1億50百万円が主な要因となります。

より詳細な情報は
こちら



工藤建設

検索



特集

語る キーマンが

Vol.13

介護事業運営本部
フローレンスリンクス
(障がい者雇用事業課)課長

福田 政弘



知的障がいを持つ 従業員が介護施設を巡回清掃

当社は、2007年から障がいを持つ方々の採用を開始し、2013年に障がい者雇用の安定・定着を目的とするフローレンスリンクス(障がい者雇用事業課)を介護事業部内に設置しました。私は、その前年に福祉関連の前職から当社に移ってフローレンスリンクスの立ち上げに携わり、その後は管理者を務めています。

フローレンスリンクスでは、現在10名の知的障がいを持つ従業員(パートナー)が介護施設の巡回清掃に従事し、私の他に2名の作業指導員がサポートしています。サポート側のスタッフは、それぞれ障がい者職業生活相談員や社会福祉士の資格を有しています。

なお当社では、フローレンスリンクスの他に、本社の事務部門や介護施設でも障がい者を採用しています。

個性を捉えることで従業員が定着、 主体的に成長

当社にとって障がい者雇用事業は、地域社会に貢献するCSR活動の一環でもあり、横浜市および川崎市の特別支援学校からの実習受け入れや障がい者就労支援センターからの紹介を経て、人材を採用しています。

入社前の実習や支援センター担当者の見学を実施することで雇用のミスマッチを防ぎつつ、当社の受け入れ体制においても、一人ひとりの個性や障がいの特性に合わせ、



障がい者一人ひとりの 主体性を育成し、ともに 社会に必要とされる存在へ。

●Profile 福田 政弘 (フクダ・マサヒロ)

1971年生まれ

2012年10月 工藤建設入社 介護事業部 介護事業運営本部 総務課課長代理

2013年4月より 介護事業部 介護事業運営本部 フローレンスリンクス課長

資格 社会福祉士・精神保健福祉士

配置と業務指導を柔軟かつ細やかに行うことで、仕事の習熟・成長を促し、従業員の定着につなげています。定着状況は良好で、開設当初の採用者も含めて5年以上勤続しているパートナーが5名います。

介護施設の巡回清掃は、障がいによるコミュニケーションの困難を配慮し、当初は共用部分を中心に行っていましたが、やがてパートナーが入居者様の名前や顔を覚えるなど主体的な成長を示したことから、現在では居室の清掃がメインとなっています。

働く意欲を持つ人材として 積極的に採用・育成

フローレンスリンクスの取り組みは、介護事業の人手不足を補うとともに、障がい者雇用の方針を明確化し、社内の関心と理解を高める効果をもたらしました。

今後も障がい者雇用を安定的に維持していくためには、介護施設の巡回清掃の他に新たな仕事を作る「職域の開拓」が課題となります。当社における業務内容は、建設事業をはじめ専門性が高いものが多く、補助的作業と言えども障がい者が従事するには困難が伴うと思われるかもしれませんが、知的障がい者が持つ根気強さや集中力などの長所を役立て、活躍できる場を見出していく考えです。

障がい者雇用を企業に課せられた義務と捉えず、働く意欲を持つ人材として積極的に採用・育成し、ともに社会に必要とされる存在を目指したいと思っています。



会社概要／株式情報

会社概要 (2019年12月31日現在)

商号 工藤建設株式会社
設立 1971年(昭和46年)7月1日
代表者の氏名 工藤 英司
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数 538名(男子277名、女子261名)

事業所

本社 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
TEL.045-911-5300 (代表) / FAX.045-911-3960

東京支店(建設事業部)

東京都港区芝5-5-2 原野ビル3F
TEL.03-5419-1792 / FAX.03-5419-1793

港北ニュータウン営業所(建物管理事業部)

横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12
TEL.045-415-8001 / FAX.045-415-8033

フローレンスケアたかつ

川崎市高津区久末1744-2

フローレンスケア美しが丘

横浜市青葉区美しが丘4-43-4

フローレンスケアたまプラーザ

川崎市宮前区犬蔵2-17-65

フローレンスケア港南台

横浜市港南区港南台6-5-13

フローレンスケア宿河原

川崎市多摩区宿河原6-12-29

フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘

東京都府中市日新町5-53-1

フローレンスケア芦花公園

東京都世田谷区南烏山2-32-28

フローレンスケア荻窪

東京都杉並区荻窪2-4-29

フローレンスケア横浜森の台

横浜市緑区森の台12-12

フローレンスケア宮前平

川崎市宮前区宮前平2-9-2

フローレンスケア溝の口

川崎市高津区下作延3-6-2

フローレンスケアホーム千鳥町

東京都大田区千鳥3-21-3

フローレンスケアホーム川崎大師

川崎市川崎区昭和2-5-6

フローレンスケアホーム鎌倉

鎌倉市岩瀬1-13-1

フローレンスケアホーム湘南鎌倉

鎌倉市上町屋524-3

フローレンスホーム洋光台

横浜市磯子区洋光台3-24-26

ロケアホーム北赤羽

東京都北区浮間3-24-10



役員

代表取締役	工藤 英司	
常務取締役	工藤 隆晃	営業全般統括
取締役	藤井 研児	介護事業部長
取締役	田崎 功	建設事業部長
取締役	秋澤 滋	経営管理部長
取締役	中山 仁	住宅事業部長 兼不動産開発室長
取締役	工藤 隆司	
取締役	太田 嘉雄	(社外取締役)
取締役	内田 裕子	(社外取締役)
常勤監査役	庄司 盛弘	
監査役	八重沢 知正	(社外監査役)
監査役	奥原 章男	(社外監査役)
監査役	苫米地 邦男	(社外監査役)
執行役員	白坂 義道	(建物管理事業部長)
執行役員	島山 靖浩	(住宅事業部設計部長)

株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	4,400,000 株
発行済株式の総数	1,331,220 株
株主数	750 名

大株主 (2019年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トップ	557	41.84
工藤建設株式会社	189	14.23
工藤 英司	39	2.99
株式会社MOMOコーポレーション	39	2.98
株式会社横浜銀行	39	2.93
工藤 次郎	33	2.51
八重沢 知正	31	2.33
川本工業株式会社	17	1.30
株式会社吉永商店	15	1.17
工藤建設従業員持株会	14	1.07





Florence Kudo

いろんな笑顔を咲かせたい。

いろんな夢で咲かせたい。

赤い花、白い花、黄色い花、青い花。

大きな花、小さな花。優雅な花、鮮やかな花、可憐な花。

いろんな花、いろんなカタチ、いろんな香り

ひとつひとつでもきれいな花。

でも、多種多様、さまざまな個性が集まった時、

その花壇は、その花畑は、その景色はもっと美しく、豊かで素敵になる。

だから私たちも、建設、住宅、建物管理、介護、CSR活動など多彩な事業で、

いつも新しい「技術・サービス・デザイン」を提案しながら、

暮らしのために、人のために、いろんな花を育てていきたい。

みんなの、明日の、幸せな笑顔を咲かせるために——

私たちは工藤建設です。

株主メモ

事業年度 毎年7月1日～翌年6月30日

期末配当金受領株主確定日 6月30日

中間配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年9月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

同連絡先 新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所



工藤建設株式会社

神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10

TEL: 045-911-5300 (代表)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。